

平成30年12月13日

政務活動費成果届出書

届出者 小栗 佳仁

○使途項目 (○をつける) 調査研究・研 修・広 報・資料作成・資料購入

○タイトル

小中学校授業における学習過程の改善事例の調査研究

○目 的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

「新しい学習指導要領」が示している、主体的・対話的で深い学びを育てる授業改善について、以下の視察を通して学ぶ。この視察によって、指導要領が目指す授業を理解し、導入に必要な環境などについての見識を深める。

- ① 半田市キャリア教育に加え、対話的な学び(学びあい)による相互の学力向上と信頼関係の構築を研究する。
- ② 自己の考えを広げ深める対話的な学びの研究により、教え・学びを相互に関連付けてより深い学びを研究する。
- ③ 問題を見出して解決策を考えたり、創造したりできる深い学びの研究をする。
自己の学習活動の振り返りによる主体的な学びを研究する。

○結 果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

【目標は達成できた】

○大東市教育委員会の視察内容と成果

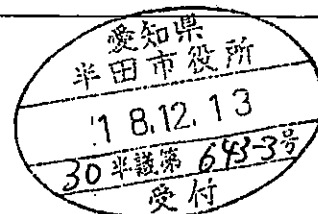
1. 平成21年に「大東市教育プラン」を策定し10年間、主体的に学び合う授業を視察。

- ① 学び合うことで、外国人児童ともコミュニケーションが図れており、お互いの信頼関係が自然体で構築できていると感じた。
- ② 授業に参画していない子どもが、一人もいない。(全員参加)
生徒全員が課題を学ぶために取り組んでいた。
- ③ 先生の板書は5分程度で、生徒に向き合った授業が行われていた。また、授業後も授業内容について学び合っていた。
- ④ 学び合う席は、くじ引きでリーダーもその都度代わる授業で、教員は班の代表者に実験の内容を伝え、代表者が各々の班の生徒に内容を伝える形式であった。生徒間には互恵関係があり、徹底した質疑で理解を深めていた。

2. 大東市教育委員会(教育研究所)

- ① 教育委員会の中に教育研究所を設け、4人の職員でこの授業をサポートしていた。
- ② 共同学習は、市内12小学校と8中学校で実施されている。
- ③ 「大東市教育プラン」を策定し10年間の成果は、学力・いじめ・不登校など学校課題が大幅に改善できていた。(荒れた学校の解消)

確認欄	議長	管理委員長



申し合わせ様式第2号

- ④ 各校は年3回の公開授業を行い、授業の評価指導を外部の研究者に委託していた。
- ⑤ 授業の最後に今日の「振り返り」を設けたことで、子どもの文書能力向上と共に予習するようになった。また、教師は「振り返り」コメントすることで、その子の学習状況を知り、次の授業改善に繋がっている。

○日本協同教育学会総会の内容と成果

1. LTD (Learning Through Discussion) : 話し合い学習法

予習用資料の内容を理解し、他の知識や自己との関連付けを行ったうえで授業に臨む学習

- ① 自己紹介を通して協同学習の基本的な技法を体験。
- ② LTD 過程プランをジグソーで学び、LTD を体験。

ジグソー：各メンバーが自分に割り当てられた学習内容を別グループで深め、元のグループに「専門家」として戻り、互いに教え合う方法。

- ③ LTD を中核に捉えた授業づくりと事例説明。

2. 協同学習の視点から、学校から仕事・社会へのトランジション講演

- ① 桐蔭学園の溝上教授は、「アクティブラーニングの視点を用いた授業は、産業界が求めている人材育成にもなる」と研究者にエールを送っていた。【まさに半田市キャリア教育】

3. 協同学習をベースとした授業改善の試みと成果

- ① 教師集団として共有すべき課題が不明確であり、個別の判断で事にあたることで、多くの授業は混乱する。【教師は授業の混乱収束に労力を費やしていないか】
- ② 協同学習を基礎においた市ぐるみの改革の可能性。
- ③ 学びのユニバーサルデザインである協同学習は、塾で先行している子や取り残されている子が学びあうことで、相互の学習レベル向上になる。

4. 意見交換会（ゲームを通じて、協同学習を実践してきた教師から直接話を伺う）

- ① 定年後も協同学習実践の補助をしている。【当市へのサポートも可】
- ② 授業内容以外への労力が減った。
- ③ アクティブで落ち着いた授業になった。また、生徒が予習するようになった。

○提言（半田市に対し、何をどう活用するか。）

1. 学習指導要領の策定では、アクティブラーニングの視点を取り入れた授業改善やその目的を明確にしていく必要がある。
2. 協同学習について研究する体制が必要である。そのための人と費用が必要である。
3. 小中学校が抱える課題解決の近道は、子ども達が受けたい授業を行うこと。
4. 産業界が求めている人材育成にもなる半田市キャリア教育をさらに改善すること。

○その他（その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。）

確認欄	議長	管理委員長